公表日: 令和6年 11月 25日

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

事業所名: 放課後等デイサービスえーる

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。

事業が報复及び休設者のガの高さ光と聞まれ、日口計画の品来と召及しよう。 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

事業所の現状評価 保護者の方の評価 評価を踏まえた 改善内容・改善目標 区分 チェック項目 いいえ 工夫した点、改善点 いいえ からい 保護者の方のご意見 利用定員に応じた指導訓練室等スペース 十分なスペース確保はできてい 写真等で活動の様子を伝えてい の十分な確保 **る**. 職員の人員については勤務形 保護者に向けて玄関前に勤務 職員の適切な配置 2 0 19 3 0 態表やシフトで確認できる。 形態表を掲示している。 境 本人にわかりやすい構造、バリアフリー 保護者の方へ室内外の様子を 把握できるよう機関紙等に盛り 込んでいく。 室内外においてはバリアフリー 制 3 化、情報伝達等に配慮した環境など障が 25 0 0 化の配慮をしている。 整 いの特性に応じた設備整備 儘 死角がないような室内の設計を 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動 行っている。また、床暖房等で心地よい環境を確保している。 4 0 25 0 引き続き周知を促していく。 に合わせた生活空間の確保 業務改善を進めるためのPDCAサイクル 子どもの支援や1日の振り返り、 事業所ごとの研修や朝礼で実践 (目標設定と振り返り)への職員の積極的 イベント等において全員が参加 している。 か参画 している。 楘 第三者による外部評価を活用した業務改 2 第三者評価においては検討中。 改 善の実施 菙 研修を定期的に行っている。ま 職員の資質の向上を行うための研修機 週2回の研修、年1回の1日研修 3 た、今後も講演の参加もしてい 会の確保 を引き続き行っていく。 適切に支援プログラムが作成、公表され 今年度中にホームページに公 1 表予定。 アセスメントを適切に行い、子どもと保護 者のニーズや課題を客観的に分析した上 アセスメントツールに基づき、定 引き続き契約時や更新時にアセ 期的に分析している。また、職 スメントを行い、保護者、子どもの意向を聞き、作成している。 切 2 での児童発達支援計画又は放課後等デ 員間で話し合いののち、計画の ービス計画の作成 作成を行っている。 支 援 児童発達支援計画又は放課後等デイ 五領域ごとの計画案を基に活動 引き続き、4月1日より五領域を サービス計画における子どもの支援に必 の 記録の中に支援目標を設定し、評価、振り返りを行っている。 3 26 意識して目標、支援内容を具体 要な項目の設定及び具体的な支援内容 的に行っていく。 供 毎日のスケジュールにおいてク 子どもの状況に応じて、個別活動と集団 ラブや課題遊びを行い、個別、 必要に応じて、イベント時の集 活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成 4 団活動についても記載していく。 集団活動を組み合わせ、計画の 作成を行っている。 毎日のミーティング時に、短期、 児童発達支援計画又は放課後等デイ 長期目標を達成するためのス 引き続き、ミーティング時に行 5 0 26 サービス計画に沿った適切な支援の実施 モールステップを確認し、支援を 行っている。 前回の利用状況を確認したうえ クラブや課題遊びを計画して チーム全体での活動プログラムの立案 0 で、立案を行っている。 行っている。引き続き、行う。 活動プログラムが固定化しないようなエ 前回の利用状況を確認したうえ クラブや課題遊びを計画して 26 0 n 夫の実施 で、立案を行っている。 行っている。引き続き、行う。 休日や長期休暇においては、予 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細や めスケジュールを立て支援内容 を確認している。 8 0 引き続き行っていく。 な かな支援 支 援 ത 支援開始前における職員間でその日の 朝礼を行いその日の計画の確 提 9 支援内容や役割分担についての確認の 0 引き続き役割分担を行っていく。 認を行っている。 供 支援終了後における職員間でその日行 われた支援の振り返りと気付いた点など 支援終了後、その日の気づいた点や振り返りを行い、情報の共 き 引き続きケース記録等に記入し 10 0 有化を図っている。 の情報の共有化 記録においてはタブレットに記 日々の支援に関しての正確な記録の徹 底や、支援の検証・改善の継続実施 録し最後に個別に確認を行って 11 0 引き続き行う。 いる。支援においては目標や評 価を毎回行っている。 引き続き行う。 定期的なモニタリングの実施及び児童発 定期的なモニタリングを行い、計 また、研修の日に評価や見直 達支援計画又は放課後等デイサービス 画の評価や見直しを職員間で 12 O しの必要性の話し合いを行っ 計画の見直し 行っている。 ている。

区分						事業所の現状評価					護者の方の評価	評価を踏まえた
	分	チェック項目	はい	どちらと もいえな い	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらと もいえな い	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	改善内容·改善目標
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい 者による障害児相談支援事業所のサー ビス担当者会議への参画	7			事業所内で話し合いで評価確認 を行い、朝礼等で明確化し、そ れを担当者会議等に参加してい く。	/					引き続き担当者会議での報告は朝礼等で行っていく。
関係機関との連携	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身 障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	/		/		/					
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身 障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連 絡体制の整備	/		/		/					
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイ サービス事業所からの円滑な移行支援 のため、保育所や認定こども園、幼稚 園、小学校、特別支援学校(小学部)等と の間での支援内容等の十分な情報共有	6	1	0	必要に応じて引継ぎを行っている。また、各関係機関において 十分な情報共有に努めている。	/					引き続き不登校児に対する情報共有も定期的に行ってい く。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円 滑な移行支援のため、それまでの支援内 容等についての十分な情報提供	5	2	0	支援会議や移行会議において 情報共有を行っている。						引き続き支援会議や移行会 議において情報共有を行って いく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	5	2	0	支援会議等で関係機関との連携を行っている。また、支援に差し支えない範囲での研修の受講を行っている。	/					りされて又接玄議寺で関係候関との連携を行っている。また、支援に差し支えない範囲での研修の受講を行っている。資格取得のための受講おいてはサポーム たがに行っ
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こ ども園、幼稚園等との交流や、放課後等 デイサービスの場合の放課後児童クラブ や児童館との交流など、障がいのない子 どもと活動する機会の提供	1	2	3	公園や地域の施設の利用や見学を行っている。また、地域の行事や地方祭の協力も行っている。	3	6	1	15		引き続き行っていく。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など 地域に開かれた事業の運営	5	0	2	えーるのイベント時に地域の 方々に協力依頼をお願いしてい る。	/					ハロウィンのイベント時にお菓子を配って頂いた。来年度も協力依頼したい。
	1	支援の内容、利用者負担等についての 丁寧な説明	6	0		契約時に丁寧な説明を行っている。法律が変わることによる変 更点おいて個人的に説明した り、機関紙で周知を促している。	25	5 2	0	0		引き続き行っていく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイ サービス計画を示しながらの支援内容の 丁寧な説明	7	0	0	契約時や支援計画の変更時、 説明を行っている。	26	1	0	0		引き続き行っていく。 また、モニタリング時にも説明 を行っていく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対するペアレント・トレーニング 等の支援の実施	4	3	0	保護者会等で行うことがあったが、今後も継続していく。	10) 7	0	10		引き続き保護者会等で必要 に応じて機会を設けていく。ま た子育でサポート等も行って いく。
保護	4	子どもの発達の状況や課題について、日 頃から保護者との共通理解の徹底	7	0		送迎時での会話や連絡ノートでのやりとりなどで対応を行う。また必要に応じて家庭連携を行い、共通理解に気を付けている。	25	i 1	1	0		引き続き保護者との情報共有を大切にしていく。
者への説明書	5	保護者からの子育ての悩み等に対する 相談への適切な対応と必要な助言の実 施	7	0	0	同上。また、事業所内連携や家庭連携を行い相談に応じている。 保護者会や懇談会を行い相談に応じている。	24	1	1	1		引き続き子育てサポートを 行っていく。
責任・連携	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の 開催による保護者同士の連携支援	7	0	0	2か月に1回保護者会を行って いる。	21	2	0	4		引き続き行っていき、機関紙等で参加を促していく。
支援	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応 体制整備や、子どもや保護者に周知及び 苦情があった場合の迅速かつ適切な対 応	7	0	0	玄関に苦情受付箱を用意してい て、苦情箱には苦情はないが、 お話があったときに対応してい る。	21	2	0	4		苦情受付箱を機関紙に掲載 し、認識してもらうとともに、気 軽にできる雰囲気作りを行 う。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の 疎通や情報伝達のための配慮	7	0	0	送迎時等に伝えたり、連絡ノート を活用している。	25	5 2	0	0		必要に応じて電話連絡等で 対応していく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	7	0	0	えーるたよりや室内掲示、SNS でお知らせ、活動の様子を伝え ている。	25	i 1	0	1		引き続き、えーるたよりの発 行やSNSでの発信を行ってい く。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	7	0		個人情報に関して入社時に誓約 書を記入また、研修を行い、確 認している。	26	0	0	1		引き続き行っていく。

区分		チェック項目				事業所の現状評価				-	養者の方の評価	評価を踏まえた 改善内容・改善目標
			はい	どちらと もいえな い	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらと もいえな い	いいえ	わからな い	保護者の方のご意見	
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルの策定と、職員や 保護者への周知徹底	7	0	0	目につく玄関に配置し、職員、保 護者へ周知している。	24	1	1	1		引き続き周知して頂くよう機 関紙等にも知らせていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避 難、救出その他必要な訓練の実施	7	0	0	子どもに対しては月1回いろんな場合を想定して避難訓練を行っている。また保護者引き渡し訓練も1年に1回行っている。職員においては定期的に状況に応じた訓練を行っている。	26	1	0	0		引き続き定期的に行い保護 者の方にも意識を高めていけるような工夫をしながら対策 をとっていく。
	3	服薬や予防接種、てんかん発作等の子ど もの状況の確認の実施	7	0	0	非常災害時にも合わせて服薬 やてんかん発作の状況を朝礼 にて確認している。また、職員に おいては薬や発作の種類等の 勉強会を行っている。	/					引き続き行っていく。
非	4	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	6	1	0	契約時やアセスメント時に確認 を行っている。今のところ医師の 指示書が必要な児童は利用して いない。	//					引き続きアレルギーに関して はアセスメント時に伺い、職 員間で共有を行っていく。
常時等の対	5	安全管理の徹底	7	0	0	安全管理において研修と訓練を 定期的に行っている。 考えられ る状況を把握し、シミュレーショ ンを行っている。	26	0	0	1		引き続き安全管理の徹底を行う。
応	6	家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	7	0	0	お知らせや玄関前での計画案を 掲示し、啓発を行っている。	26	0	0	1		引き続き掲示していく。
	7	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内 での共有の徹底	7	0	0	ミーティングや研修を行い、情報 共有とともに再発防止に向けた 話し合いを行っている。	/					引き続き行っていく。 3事業所での事例集を活用 し、情報共有を行う。
	8	虐待を防止するための職員研修機会の 確保等の適切な対応	7	0	0	年間計画に基づき、講演会や職員内研修を実施している。また、委員会においては変更点の検討やチェックシートの確認を行っている。	/					引き続き行う。
	9	やむを得ず身体拘束を行う場合における 組織的な決定と、子どもや保護者に事前 に十分に説明・了解を得た上での児童発 達支援計画又は放課後等デイサービス 計画への記載	7	0	0	契約時に説明を行い、同意書を 頂いたうえで、支援計画に記載 している。また、カンファレンスを 行い、身体拘束解除に向けた検 討を行っている。	/					引き続き行う。